

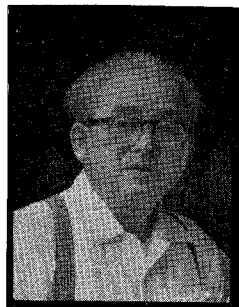


☆清本固氏の叙勲 さる4月29日、今年度春の生存者叙勲で、清本<sup>かたし</sup>固氏(78才)は勲四等に叙せられ瑞宝章を授けられた。同氏は大正7年から昭和34年まで水路部編曆課に在職され、太陽・月・惑星の位置推算について、ニューカム、ブラウン、ヒルによる推算原表からの計算方式の改良を始め、文字どおり天体曆の推算に一生を捧げられた方である。

☆土居客郎氏の訃 天文オールドアマチュアとして、また天文学関係図書出版の恒星社々長として活躍されていた土居客郎氏(本名土井伊惣太氏)が去る5月31日逝去された。

氏は明治23年香川県善通寺町に生まれ、13才のときから大阪で書店に勤められた。昭和6年、32才のとき山本一清氏に恒星社の社名をもらい、天文書の出版をはじめ、同年「初等天文学講話」が創梓された。戦前刊行さ

れた「図説天文学講座」、戦後の「現代天文学事典」、「新天文学講座」など、数多いアマチュア天文家諸氏とともに、現在天文学の第一線に活躍しておられる方々にも懐しい書名であろう。心から御冥福を祈る。



#### ☆岡山天体物理観測所におけるアルミ蒸着作業

岡山天体物理観測所では、恒例の鏡面蒸着作業が6月1日より約1週間の日程で行なわれた。折から観測を休止するのが惜しいほどの晴天つづきであり、水の不足も心配されたが、湿度が低いので乾燥の仕上がりがきれいにいき、順調に15枚の鏡面の蒸着を終えた。

蒸着は、 $5 \times 10^{-6}$  Torr. 程度の真空タンク内で、アルミニウムがスパッターされるが、重量2トンの188センチ口径主鏡の操作には毎回、神経がすりへる思いである。これらの作業をおえてみると、人間の指がいかに汚いものか、また空気中にはいかにほこりが舞っているかが、よくわかるものである。(G)

## 西村製の反射望遠鏡

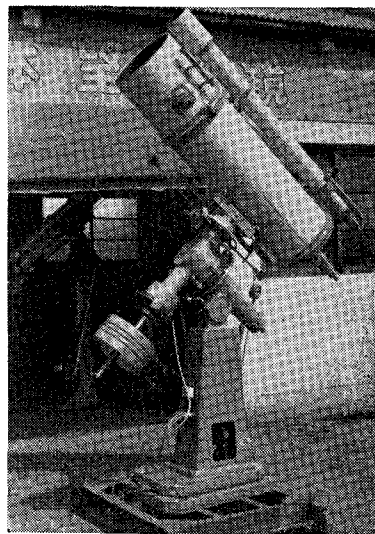
- 30cm “A” カセグレン・ニュートン兼用  
10cm 屈折望遠鏡 (f/15)
- “B” カセグレン焦点  
15cm 屈折望遠鏡 (f/12)
- 40cm “A” カセグレン・ニュートン兼用  
15cm 屈折望遠鏡 (f/15)
- “B” カセグレン焦点  
20cm 屈折望遠鏡 (f/12)

株式会社 西村製作所

京都市左京区吉田二本松町27

電話 (771) 1570, (691) 9589

カタログ実費90円郵券同封



30 cm 反射望遠鏡

ニュートン・カセグレン兼用